

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工礦業振興費

事業名【新】小水力発電導入可能性調査事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境エネルギー生活部
省エネ・再エネ社会推進課 エネルギー係電話番号：058-272-1111(内2942)
E-mail : c11268@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 23,000 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	23,000	15,333	0	0	0	0	0	0	7,667
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県では、「地域資源を活用した再生可能エネルギーの創出拡大」をエネルギー政策の重要な柱に位置付けている。

特に小水力発電は、太陽光発電等と比較し、天候に左右されにくく安定的な運用ができるうえ、自然環境への影響が小さく、地域振興への貢献が可能であるなど、再生可能エネルギーとして重要な役割を担っている。

本県では、これまで、県営ダムや農業水利施設などを利用した小水力発電の設置に取り組んできたが、豊富な水資源に恵まれ全国有数の導入ポテンシャルを有している。

こうした中、県の管理する砂防堰堤等については、既存ストックの有効活用の観点からも小水力発電に活用できる可能性を有しており、国も「既設砂防堰堤を活用した小水力発電の手引き」等を作成し、普及啓発を進めている。

このため、県の管理する砂防堰堤等において小水力発電の調査・検討を行い、地域や地域の事業者等における活用や参入を促進する。

(2) 事業内容

- 県の管理する砂防堰堤などにおいて、小水力発電の導入の可能性の高い箇所を選定し、所在地、水量、落差、設備容量、採算性などを含む調査を行う。
選定箇所数：20箇所程度
- 調査結果については地域や地域の事業者などへ提供し、小水力発電の地域活用や参入を促進する。

(3) 県負担・補助率の考え方

「地域資源を活用した再生可能エネルギーの創出拡大」を県エネルギー政策の重要な柱に位置付けていることから、県の豊富なエネルギー資源である水力を活用した小水力発電を促進する必要があり、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	23,000	小水力発電の導入可能性調査
合計	23,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県地球温暖化防止・気候変動適応計画（改訂中）

(2) 国・他県の状況

経済産業省：中小水力発電自治体主導型案件創出調査等支援事業

秋田県：小水力発電の導入に関する可能性調査業務

(3) 後年度の財政負担

なし

(4) 事業主体及びその妥当性

「地域資源を活用した再生可能エネルギーの創出拡大」の観点から、県による小水力発電の促進は妥当である。

事 業 評 價 調 書 (県単独補助金除く)

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
「岐阜県地球温暖化防止・気候変動適応計画」改訂に伴い目標値の見直し作業中

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R2)	R5年度 実績	R6年度 実績	R8年度 目標	終期目標 (R12)	達成率
再生可能エネルギー創出量	8.9PJ	11.9PJ	12.19PJ	計画改訂中	計画改訂中	
うち小水力発電の創出量	1.57PJ	2.65PJ		計画改訂中	計画改訂中	

○指標を設定することができない場合の理由

（記入欄）

(これまでの取組内容と成果)

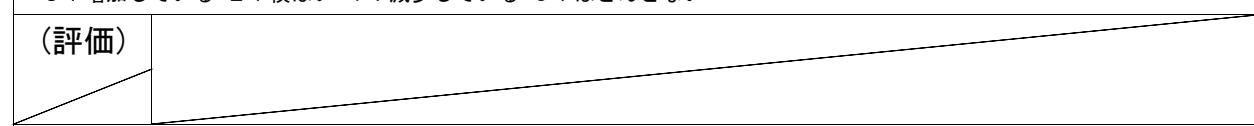
令和4年度	（記入欄）
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和5年度	（記入欄）
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和6年度	（記入欄）
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない



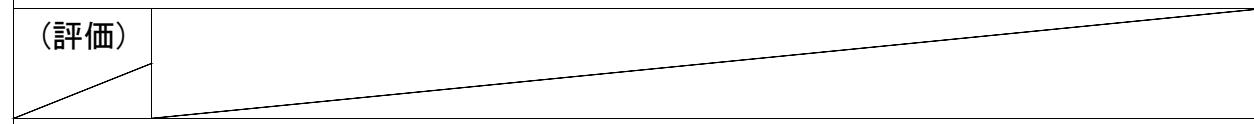
- 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり

2：期待どおりの成果あり

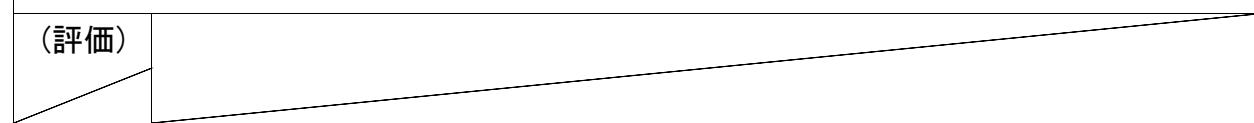
1：期待どおりの成果が得られていない

0：ほとんど成果が得られていない



- 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている



(今後の課題)

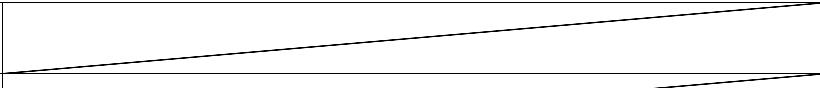
- 事業が直面する課題や改善が必要な事項

県の豊富な水力発電のポテンシャルを活かし、さらなる導入拡大を図るため、地域における活用や事業参入を促進する必要がある。

(次年度の方向性)

- 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
調査結果を地域や地域の事業者等に提供し、活用や参入を促進する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	